

日本共産党交野市会議員団は、6月議会に「武力ではなく憲法9条に基づく対話外交による安全保障を求める意見書（案）」「中小企業支援の拡充を求める意見書（案）」の2本の意見書を提出しました。

武力ではなく憲法9条に基づく対話外交による安全保障を求める意見書（案）

交野市議会が3月8日に可決した「ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議」が指摘したように、プーチン政権によるウクライナ侵略は、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章に反するものである。国際社会の抗議の声をいっそう広げ、ロシアの軍事行為の中止を求めなければならない。

しかるに、軍事緊張の国際情勢に乗じて「敵基地攻撃」「軍事費2倍化」「核共有」など相次いで「力の強化」を主張する動きが政府や国会の一部に強まっていることは、日本国憲法が規定する恒久平和主義に反する危険な動きと言わなければならない。

特に、専守防衛の立場を超えて集団的自衛権行使を可能とするもとの「敵基地攻撃」は、日本が攻撃されていなくても同盟国である米国が戦争を始めればその相手国に対し自衛隊が米軍と一体に「敵基地攻撃」を仕掛けることになる。これは相手国から見れば先制攻撃そのものであり、憲法9条とは絶対に相容れない。

今、日本の安全と平和にとって必要なことは、「あらゆる紛争を戦争にせず話し合いで解決する」という憲法9条の精神を活かした積極的・能動的な外交を積み重ねて戦争を起こさないことである。東南アジアですでに実践されている東南アジア友好協力条約(TAC)を東アジア全体に広げ、ASEAN 10か国と日米中など8か国で構成する東アジアサミット(EAS)を強化し、東アジア全体の規模で友好協力条約を展望する方向でこそ、日本の平和と安全の展望が広がる。

よって政府及び国会は、武力強化、日米同盟強化一辺倒の立場ではなく、「平和の外交ビジョン」を掲げ、憲法9条の立場と精神に基づいた安全保障を築くことを強く求める。

いでの苦情も相次いでいます。

機械化での運営が始まり、特にグート式の駐輪場では、朝の時間帯に、自転車台も順番待ちで混雑している様子が見受けられます。利用者は、「入口ゲートで1台ずつしか入れないので、通勤時に混雑して困る」「一時預かりが満車で止められなかった」などの苦情も相次いでいます。

自転車駐輪場

機械化開始で混乱が...

今年4月から、市営自転車駐輪場の指定管理者が、シルバー人材センターから、(一般財団法人)京都市都市整備公社に変わりました。

4月から順次、

6月議会
で、可能な改善を求めたいと思います。ご意見、ご要望などぜひお寄せください。



箇所名	型式	収容台数	
		自転車	原付
交野市駅東	ラック式	318台	34台
ぎんりんターミナルかたの		382台	27台
河内森駅東		225台	64台
河内磐船駅新北		145台	29台
河内森駅西	ゲート式	801台	140台
郡津駅西	ラック式	482台	25台
郡津跨線橋下		249台	62台
交野市駅前	ゲート式	387台	
星田駅東		743台	271台
河内磐船駅北	定期利用のみのため対象外	463台	52台
星田駅西		321台	66台
星田駅西第2		92台	16台

(台数は「募集要項」より)



河内森駅西 駐輪場(ゲート式)